

《上映作品》

ソング・オブ・ザ・シー 海のうた



小さな海辺の町、貝の笛、伝説の巨人、フクロウ魔女——アザラシの妖精が歌う、美しい“うた”。
アイルランド発、心に響く、珠玉の家族の物語。

第87回アカデミー賞®長編アニメ映画賞ノミネート、そして第28回ヨーロッパ・フィルム・アワードにて大ヒット作『映画 ひつじのショーン バック・トゥ・ザ・ホーム』を抑えて長編アニメ賞を受賞するなど、世界中のアニメーション界を席巻した本作が、ついに日本で公開となります。海ではアザラシ、陸では人間の女性の姿をとる妖精・セルキー。そのセルキーの母親と人間の父親の間に生まれた幼い兄妹。ある日、妹のシアシャがフクロウの魔女に連れ去られてしまう。兄のベンは妹を救うため、消えゆく魔法世界へと不思議な旅に出発する…。アイルランド神話をもとに描く、幼い兄妹の大冒険、そして別れが、絵本から動き出したかのような、息を呑む圧倒的な映像美で紡がれていきます。制作したのは、“ポスト・スタジオジブリ”と本国アイルランドで称される制作会社“カートゥーン・サルーン”。また音楽は、数々の映画音楽を手掛ける、ブリュノ・クレ。そのシンプルで美しい旋律が神話の世界を彩ります。世界中のアニメーション界で注目される珠玉の本作を、ぜひお楽しみください。



監督 トム・ムーア

大人やティーンエイジャーの観客は、映像や音楽や物語を楽しんでくれると確信していますが、今回はさらに、小さな観客が楽しむことができ、成長に合わせて繰り返し見ることのできる『ジャングル・ブック』や『となりのトトロ』のような作品を目指しました。宮崎駿監督の作品は、僕たちに馴染みのない文化を描きながら、普遍的なテーマについて語っています。僕の作品も、劇場を独占しているアメリカのアニメ映画とは違うものを提供したいのです。

【日本語吹替版キャスト】

息子ベン役 本上まなみ

母親を慕い続ける少年ベンの、その想いの強さに涙がこぼれました。妹のために勇気を振り絞って行動を起こすベン。彼をそっと見守るような気持ちで、演じられたらいいなと思っています。とびきりの愛おしいひとを想いながら、観てくださいね。



母プロナー役 中納良恵 (EGO-WRAPPIN')

自分の中にある懐かしさや誰かを思う大切な気持ちを歌うようにセルキーという海の精に投影できればと思っています。この映画を見に来られたすべてのみなさまがたっぷりと愛の中に包まれることを思って。



父コナー役 リリー・フランキー



© KUROSHI NOMURA

日本版テーマソング 作詞・歌 中納良恵 オリジナル版のメロディーはそのままに、歌詞を日本語に意訳し歌っていただいています。

©Cartoon Saloon, Melusine Productions, The Big Farm, Superprod, Nørflum

《問い合わせ先》

多久市教育委員会教育振興課(中央公民館内)

☎ 74-3241

Fax 74-3284